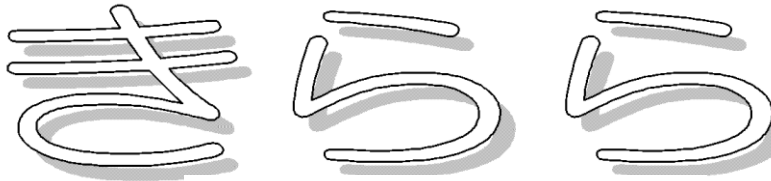




蕪山南小学校
学校だより

学校教育目標:ともに高め合う きららの子



令和7年6月発行 第3号

「地域に信頼
され、地域とと
もにある
学校」を
めざして

「なぜ～」から 「～したい」と思える子供に

校長 土屋 貴俊

先日の朝校門に立っていると、登校してきた5年生の子が「ツバメが低く飛んでいるから明日は雨だよ」と教えてくれました。そこで私から「どうして雨が降る前は、ツバメは低く飛ぶの」と質問してみました。するとこの子は、少し間を開けて考えながら「ツバメの餌が下の方にいるからかなあ」と答えました。誰かに教えてもらったり、図鑑等で調べたりして知っていたのか、またはとっさに考えたのかは分かりませんがすばらしい受け答えでした。さらに「ツバメの餌は、何か。」「翌日が雨だとなぜ低いところに餌となる生き物がいるのか。」等、さらなる疑問をもつことができると学びが続いていきます。一つの事象やきまりごとに対して「なぜそうなるのか」「なぜそうしたほうがよいのか」等の理由を考え、自分で学びを深めたり行動したりする子供に育てて欲しいです。



ところで子供たちは、地域であいさつはできているでしょうか。日頃から子供たちは、いろいろな大人から「あいさつをしましょう」と言われているはずですが、子供自身が「あいさつはなぜ大切なのか」を自分事として捉えたり、実感したりしないとできるようにはなりません。私たち大人も「どうしたらあいさつができる子供に育つのか」について地域の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

ある朝の4年生の「心の健康観察」において「とても気分がよい」と回答した子供の理由が「朝、地域の人にたくさんあいさつができたから」でした。あいさつをされた人だけでなく、した方も気持ちやすっきりすることを再認識しました。みんなが気持ちよく安心して生活できるようあいさつが広がっていくことを願っています。

また3年生の子どもたちは、本校保護者の友部様のハウスでいちご狩りを、蔵屋鳴沢さんの茶畑で茶摘み体験をさせていただきました。子供たちは、香り・手触り等の五感を使ってたくさんの学びがあったことと思います。

6年生も蕪山の歴史を学ぶために「反射炉」「江川邸」「願成就院」の見学をしました。これらの地域学習を通して地域の人・もの・こと等の魅力を再発見し、「地域の活性化や観光振興に貢献したい」、「農家の方々への感謝の気持ちを伝えたい」「地域の歴史や文化について、たくさんの人に知ってもらいたい」等、子供たちの「～したい」思いを引き出し、それらを形にして子供たちが広く発信できるよう学びを深めていきます。これからも地域や保護者の皆様には、子供たちの地域での学びや活動を温かく見守っていただけるとありがたいです。ご協力をお願いします。